

## 令和3年度第1回岡崎市少年愛護センター運営委員会

日 時 令和4年1月19日(水)午後2時

会 場 岡崎市役所東庁舎7階701号室

出席委員

委員長

太田 俊 昭(岡崎市社会福祉協議会長)

平松 文 子(岡崎市民生委員児童委員主任児童委員連絡会会長)

成瀬 眞佐子(愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会副会長)

伊澤 勉 (岡崎市小中学校現職研修委員会生徒指導部長(六ツ美中学校長))

稲垣 貴 也(県立高等学校生徒指導部代表(岡崎高等学校教諭))

宮澤 会美香(NPO法人日本カウンセリング普及協会認定1級心理カウンセラー)

佐野 章 子(少年愛護センター地域指導員(梅園学区))

猪飼 由美子(少年愛護センター地域指導員(愛宕学区))

欠席委員

荒河 昌 吾(岡崎市小中学校現職研修委員会生徒指導部長(大樹寺小学校長))

天白 真 順(私立高等学校生徒指導部代表(岡崎学園高等学校教諭))

河内 孝 彰(岡崎警察署生活安全課長)

安ノ井 宏 隆(西三河福祉相談センター児童育成課長)

事務局

社会教育課長 福澤 純子

社会教育課副課長 柴田 英代

社会教育課社会教育係 内田、福田

少年愛護センター 浦野、杉原

議 題

(1) 少年愛護センターの令和3年12月までの活動報告について

(2) 令和3年度岡崎少年愛護センター指導員大会について

(3) 岡崎市子ども・若者支援地域協議会について

(4) 最近の事例について

### (1) 令和3年12月までの活動報告について

配布資料に基づき、少年愛護センターの職員が令和3年度12月までの活動状況について報告。

今年度は192名の指導員の協力の下、青少年の非行防止、愛護善導の補導活動を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、移動時や補導活動時の密を避けるため、地域指導員の補導参加を縮小し、緊急事態宣言時などは活動の一部を中止していることから、数として減少している。

4月から12月までの実施回数は301回、巡回した場所は1,655カ所、声かけした少年の数は548人であり、危険行為や怠学・喫煙行為等をしていた少年については家庭、学校等への連絡することとしているが、今年度はこれまでのところいない。

同時に行っていた少年愛護センターティッシュの配布は中断しており、緊急事態宣言の発令時には声かけも控えることとしている。

少年相談は、来所による相談2件、電話相談23件があった。ここ数年で増えている

相談内容は、登校しぶりや不登校に関する相談である。

少年愛護センターでは、街頭補導や少年相談のほかに、環境浄化という事で有害図書自販機設置状況、児童・生徒の安全を守るため、不審者被害情報の迅速な伝達や取りまとめを行っている。

#### (2) 令和3年度岡崎少年愛護センター指導員大会について

年明け以降の新型コロナウイルス感染症の急増により、令和4年2月2日に予定している指導員大会の開催方法を縮小開催に切り替え、永年・多年勤続の指導員への感謝状贈呈のみを行う旨を説明した。

#### (3) 岡崎市子ども・若者支援地域協議会について

岡崎市では、長年、少年愛護センターを中心に少年相談や少年補導など青少年への支援を行ってきたが、青少年を取り巻く環境は年々変化しており、かつてのような少年非行といった枠組みを超え、不登校や引きこもり等社会生活を営む上で困難を抱えた子ども・若者に関する問題が大きくなってきている。

このため、岡崎市でも2月に子ども・若者に関わる機関等による支援を効果的かつ円滑に組み合わせることを目的とした子ども・若者支援地域協議会を設置することとなった。今後、徐々に取組を開始していくが、少年愛護センター運営委員会と趣旨の一部が重複しているため、運営委員の中からも関係機関等として協議会に参加してもらいたい。また、今後については、少年愛護センター運営委員会を統合することも検討している。今年6月に予定している次回の運営委員会で、詳細について説明したい。

#### (4) 最近の事例について

##### 【事例】

少年愛護センターの職員が事例について説明。

##### 【意見】

- ・学校には教育相談委員会があり、担任・学年主任・教育相談部・保健室が連携し、どのような示したらいいか会議を開いている。  
スクールカウンセラーにも早めに悩みを聞いてもらい登校支援に繋げていきたい。学校への不信が強いと困難だが、転校して生き生き伸びた子、留年して卒業してよかったという子もいる。視点を変えたらいいのではないか。
- ・「勉強ができなくなったら自分はだめだ」という気持ちになりかねないので、自分の魅力を見つけさせてあげたらどうか。
- ・母親が子供の将来を心配する気持ちからの焦りもあると思われ、母親への支援も必要となる。子供自身にエネルギーが無い時は何をやっても効果が得られないため、ゆったり構えていくことも重要ではないか。